

大田区自立支援協議会 令和3年度 第2回地域生活部会議事録

文責：小野委員（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 令和3年度 第2回地域生活部会			
(2) 開催日時	令和3年11月16日(火) 10:00~12:00			
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター 5階 多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	伊藤 朋春	山根 聖子	江頭 公美子	大場 貴弘
	小野 英次郎	金子 正	柴田 静	宮澤 創
	森山 美穂	相澤 あゆみ	榎 拓巳	金丸 正明
	小松代 菜央	橋本 朋子	平井 有希子	
	区事務局：土岐、森田、西澤、親跡、木村			
(5) 内容・要旨	<p>1 委員・専門部会のみ委員の紹介 副部会長の承認 各委員及び事務局が自己紹介（所属と名前のみ）</p> <p>2 部会の開催日程、年間スケジュールの確認（事務局より） 部会の司会は伊藤部会長が担い、書記は専門部会のみ委員にもお願いをしていく。次々回以降の部会にて書記を担っても良いという方は、ご意見カードにその旨を記載。議事録は内容をまとめて作成し、発言は匿名で記載。事務局が最終的に確認を行う。 部会は毎月火曜日に行う。作業部会は午前中に設定し、各委員1回は参加してほしい。 自立支援協議会について改めて共有。協議会は、情報共有、協議、連携の場であることを確認。協議会の目的について、話し合った内容を各機関や所属先で共有し役立ててもらいたい趣旨がある。協議会だよりに伴う編集会議は割愛することになった。</p> <p>3 運営会議の報告 副部会長：10月25日(月)に開催。会長、副会長、部会長、事務局が参加。運営会議は、本会、専門部会のすすめ方や、協議会全体のあり方を検討・調整する場である。運営会議では、「各専門部会の今年度のテーマと課題」、「ワーキンググループ（以下、「WG」と表記）は専門部会の中で具体化できた解決策、解決策につながる作業を一定期間のなかで作り上げることを基本とし、専門部会をサポートする位置づけ」、「各部会テーマに基づいて、協議会委員から推薦された専門部会のみ委員候補者の確認」「障害福祉施策推進プランと協議会の連携」をそれぞれ確認した。 今年度は、新型コロナウイルスの影響で開催日数が限られているため、協議会だよりの発行に伴う編集会議は割愛し、運営会議メンバーで作成する。 また、報告書については、今年度は中間報告を作成し、2年任期を活かして、来年度末に報告書を作成する。 報告書と協議会だよりについては、その場で意見が出なかつたため、委員から了承を得たこととなった。 名川会長より、本会の在り方で問題提起があった。本会</p>			

委員の検討の場となるように運営会議のなかで準備をしていきたい。

次回本会は令和4年3月14日(月)午後の予定。

4 令和3年度地域生活部会の活動について

部会長：「希望する暮らしの実現」(マスタープラン)については、おおた障がい施策推進プランを基にテーマとしたものであるため、来年度も同じく地域生活部会で検討する大きなテーマとしていく。

これまでは、WGの比重が大きかったため、今年度は、専門部会とWGそれぞれの役割、相互の関係性について見直す必要がある。専門部会は「設定したテーマについて討議する場」として運営していく。また、専門性や1つの障がいに特化して議論していく場ではなく、テーマを様々な視点から見つめ、各専門分野に共通する課題を探していくものである。

今回、次回はライフステージ(幼少期、学齢期、成人期、高齢期)やカテゴリーに応じた課題の洗い出しを行い、その後共通項を探していく事とし、1年かけて具体化できるテーマを探していく。

最終的には、部会で抽出・検討した課題をおおた障がい施策推進プラン等につないでいきたい。

⇒3グループ(A～C)に分かれて討議を実施。討議後にポスターセッションを行い、各グループ間で意見の共有を行った。

5 第3回「地域生活部会」に向けた作業部会について

日時：令和3年12月7日(火)10:00～12:00

場所：障がい者サポートセンター A棟3階集会室2

各グループで出た意見については、作業部会で検討・整理を行う予定。

6 その他

情報共有コーナーの活用方法について、所属事業所で周知資料等がある場合、事務局に事前に渡しておくことで、会場内のホワイトボードへ貼り出しがされる。

以上